

抑々藤原の大織冠録公の嫡孫正一位贈大政大臣藤原の  
 武智磨公の孝房住地ヨリハ丁有信濃村栄山寺に住セラ  
 ル処シテ今堂宇僧坊存セリ就中金堂本尊薬師  
 如来ハ武智磨公の建事ニテ八角堂に垂銘垂シテ起事シ  
 タル天平宝字の一字ニテ則武智磨公の長男横佩右大臣  
 豊成公の造営ナリ南麻守持法尼當寺境内小野送風  
 樂筆の銘ヲ刻シ林尾藤原往古山城國深草の道隆  
 寺の鐘タレ下ヲ普ク世人の知処シテ由縁アリテ南栄山寺  
 傳來ス方今猶歷然ト存在シテ皇國比類の鐘ヲ嘆  
 尖重トテラベキナリ此栄山寺の前庭スルハ吉野川の下  
 流イカガハる大水出を浪タス其面靜ナハ世人名テ  
 吉野無川トテ是ヨリ高野山林麻の學文路村逆舟の出  
 処ナリ兩岸の奇絶頗敬贊四悔の法君絶景の地ヲ探  
 筆送着目シ給ハテ漢先生撰錄垂措の法帖全寺  
 先テ滾授シ且ッ宝物等モ因見備受テ其力ス我カ家  
 の祖先ハ漢の武智磨公ハ法授スル石物換是移リテ  
 農ノ交ニシテ其客縲業ヲ勒ム屋号ヲ笠屋トテ依テ  
 漢寺ヲ誘引セト欲シテ爰テ告示スル下申リ

高野山ヨリ七里手前

大和國岸野三在驛

御定病

笠屋源兵衛

